

広域地方計画の検討状況について

平成21年4月21日
国土交通省国土計画局

広域地方計画について

計画策定のポイント

- 広域ブロックごとに**特色ある戦略**を描く
- 各ブロックが**交流・連携**、相乗効果による活力
- 各地域が相互に補い合って**共生**
- 文化・伝統や個性ある景観など美しい国土の再構築

このためブロックの外に向かつては、とりわけ、

- ・ **東アジア**等との交流・連携
- ・ 太平洋のみならず、**日本海及び東シナ海**の活用

ブロックの内部では、

- ・ **成長エンジン**となる都市・産業の強化
- ・ 各地域が連携、**相互補完**
- ・ **地域の総合力**を結集し、安心して暮らせる生活圏域を形成

100年に一度と言われる世界的な金融危機を契機とした、足下の経済や雇用の厳しい状況等を踏まえつつ、これを乗り越える**自立的発展に向けた今後10年の将来展望**を描く。

～国と地方の協働～

広域地方計画協議会の協議を経て
国土交通大臣決定

都府県知事
政令市市長

経済団体等の長

- ・ 経済連合会
- ・ 商工会議所連合会 等

広域地方計画協議会

代表市町村の長
隣接する県等の長

国の地方行政
機関の長

協議会の開催状況

- 東北圏：H20.10.17（会長：東北経済連合会会長）
- 首都圏：H20.10.24（会長：茨城県知事）
- 北陸圏：H20.10.2（会長：北陸経済連合会会長）
- 中部圏：H20.10.3（会長：愛知県知事）
- 近畿圏：H20.10.21（会長：関西広域機構会長）
- 中国圏：H20.10.28（会長：広島県知事）
- 四国圏：H20.10.6（会長：四国経済連合会会長）
- 九州圏：H20.10.14（会長：九州経済連合会会長）

国土形成計画(全国計画)について

H20年7月4日閣議決定

新しい国土像

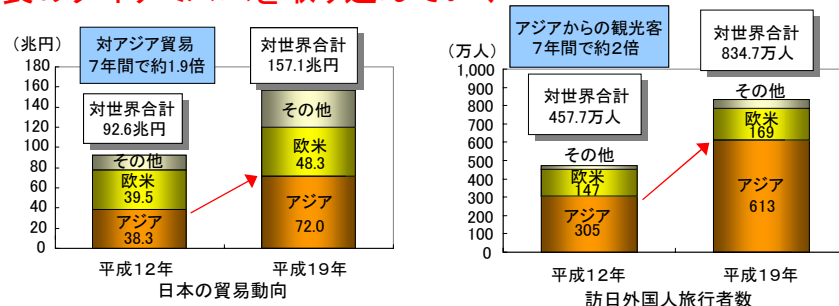
多様な広域ブロックが自立的に発展する国土を構築するとともに、美しく、暮らしやすい国土の形成を図る

新しい国土像実現のための戦略的目標

<グローバル化や人口減少に対応する国土の形成>

東アジアとの円滑な交流・連携

広域ブロックが東アジアの各地域と直接交流・連携し、アジアの成長のダイナミズムを取り込んでいく



持続可能な地域の形成

人口減少下においても、地域力(地域の総合力)の結集、地域間の交流・連携により、魅力的で質の高い生活環境を維持していく

<安全で美しい国土の再構築と継承>

災害に強いしなやかな国土の形成

減災の観点も重視した災害対策や災害に強い国土構造への再構築を進め、安全で安心した生活を保障していく

美しい国土の管理と継承

美しい国土を守り、次世代へと継承するため、国土を形づくる各種資源を適切に管理、回復



<4つの戦略的目標を推進するための横断的視点>

「新たな公」を基軸とする地域づくり

多様な主体の参画を、地域の課題の解決やきめ細かなサービスの供給につなげる

従来の私の領域で
公共的価値を含む活動



空き店舗を託児所に活用した
中心市街地活性化(高知市)

公と私の中間的な領域を
新たに担う活動



NPO等による過疎地有償
運送(長野県中川村)

従来の公の領域で
民間が主体的に担う活動



市民との協働による河川敷
の清掃活動(熊本県白川)

広域地方計画 スケジュール（想定）

20年 7月	全国計画閣議決定（7月4日）	
10月 11月～ 21年	8ブロック 広域地方計画協議会 開催 市町村との意見交換	東北圏：10.17 首都圏：10.24 北陸圏：10.2 中部圏：10.3 近畿圏：10.21 中国圏：10.28 四国圏：10.6 九州圏：10.14
4月	市町村計画提案 (4/1～4/28)	
6月中頃 目途	パブコメ (4週間程度)	広域地方計画協議会 (計画原案の協議)
夏頃	国土交通大臣決定	

※ **法定手続き**

各ブロックの 広域地方計画の検討状況

(注)

1. 記載内容は、各ブロックにおいて策定作業中の広域地方計画のうち、特徴的なものを抜粋したもの。
2. その内容は、第1回広域地方計画協議会における議論等を踏まえ現在検討中の内容であり、今後、協議会における協議によりさらに充実を図るもの。

東北圏

- 東北圏の基幹産業・地場産業である農業の維持・強化
- 次世代自動車関連産業や観光交流拡大による新たな成長の実現
- 豊かな自然と共生する環境先進圏の実現

東北圏の基幹産業・地場産業である農業等の収益力向上

[食品産業や観光等との連携による農産物の高付加価値化]

- 地域の農家、食品製造業者、観光などの連携による高品質な農産物や付加価値の高い新たな加工食品の開発

[新たな可能性追求による米の消費拡大]

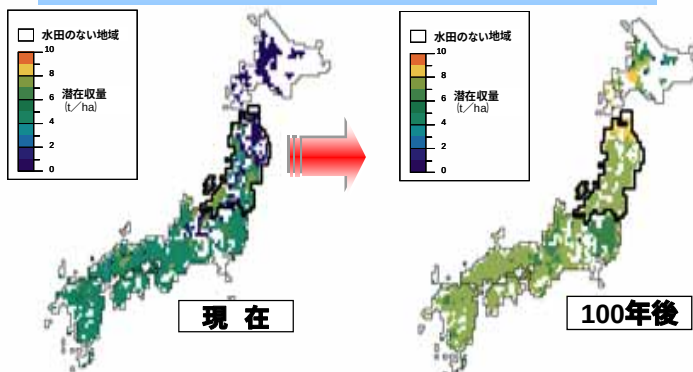
- にいがた発「R10プロジェクト」等の米粉を原料とする製品の開発など、わが国の食料自給率の向上にも資する、米粉の需要増を通じた米の消費拡大

[地球温暖化に備えた農業技術開発]

- 気候変化等の将来の環境に適応する、高温耐性イネの育成など農業技術開発

[コシヒカリの収量増加が期待できる]

温暖化にあわせて移植(田植え)日を決定した場合の潜在収量は増加が期待できる



出所:「地球温暖化予測情報にもとづく水稲の潜在収量分布の変化」(農業環境技術研究所)をもとに作成

▲地球温暖化と東北の優位性

次世代自動車関連産業や観光交流拡大による新たな成長の実現

[産学官連携による次世代自動車関連産業の拠点形成]

- 「TOHOKUものづくりコリドー」における、産学官連携による次世代の自動車技術のニーズを先取りした高度部材・高機能機器、高機能電池等の研究開発の推進
- 「みやぎカーインテリジェント人材育成センター」など、産学官連携による設計開発を担う人材の育成

[「日本のふるさと・原風景」を体験できる滞在型観光圏の創出]

- マタギ文化体験・かまくら体験・地吹雪体験などの体験メニューを組み合わせた、観光圏整備法に基づく観光圏の形成
- 東北観光推進機構などによる「奥の細道」「平泉文化」など、ストーリー性をもった広域観光ルートの開発

金沢・米沢地域観光圏 (福島・山形)	伊達な広域観光圏 (宮城・岩手)
「自然」「温泉」「食」「歴史」等の多彩な観光資源を活用した体験メニューの新規創出。	平泉等の歴史・文化資源を中心に、農林漁業等を活用した体験プログラム等の充実。
雪国観光圏 (新潟・群馬・長野)	やさしさと自然の温もり ふくしま観光圏 (福島)
雪国の自然環境と文化の魅力を国内外にアピールし、雪国観光圏ブランドを確立。	「豊かな自然」「食材」「花」等の素材を活かし、自然を基本とした体験型観光を推進。

▲「日本のふるさと・原風景」を体験できる観光圏

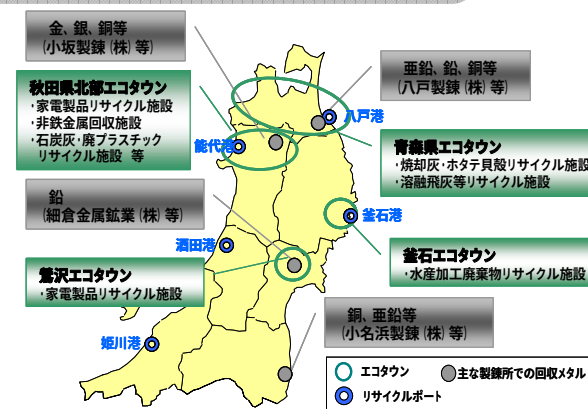
リサイクル産業の集積等を活かした環境先進圏の実現

[新エネルギー技術開発]

- 北東北と北海道の広域的な大学連携による風力・地熱等の新エネルギー技術開発の研究拠点(北日本新エネルギー研究センター)の形成

[非鉄金属等リサイクルの推進]

- 行政・民間事業者・市民等が一体となって取り組む、将来のレアメタル回収に備えた使用済小型電気・電子機器の広域的回収システムの構築



▲東北圏の主なリサイクル拠点

東北圏広域地方計画（検討中）の構成概要

区 域：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県の7県（人口：約1,210万人、域内総生産：約43兆円）

東北圏広域地方計画協議会（会長：幕田圭一 東北経済連合会会長）

(県)		(政令市)		(市長会・町村会)		(隣接県)		(経済団体)			
三村	青森県知事	吉村	山形県知事	梅原	仙台市長	佐々木	青森市長	高橋	北海道知事	幕田	東北経済連合会会長
達増	岩手県知事	佐藤	福島県知事	篠田	新潟市長	森	長岡市長	石井	富山県知事	丸森	東北6県商工会議所連合会会長
村井	宮城県知事	泉田	新潟県知事			渡辺	丸森町長			敦井	新潟県商工会議所連合会会頭
寺田	秋田県知事					渡邊	聖籠町長				

（国の地方支分部局の長）

キーコンセプト

豊かな自然とともに力強く成長する
ふるさと「東北にっぽん」の創造

戦略目標

- 恵み豊かな自然と共生する環境先進圏域の実現
- 雪にも強く安全で安心して暮らせる温もりのある人に優しい圏域の実現
- 地域の資源、特性を活かした世界に羽ばたく産業による自立的な圏域の実現
- 交流・連携機能の強化による世界に開かれた圏域の実現
- 東北圏民が一体となって地域を考え行動する圏域の実現

プロジェクト

- 1 東北圏のポテンシャルを活かした低炭素・循環型社会づくりPJ
- 2 歴史・伝統文化、自然環境の保全・継承PJ
- 3 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等大規模地震災害対策PJ
- 4 地球温暖化に伴い高まる自然災害リスクへの適応策PJ
- 5 豪雪地域の暮らし向上PJ
- 6 都市と農山漁村の連携・共生による持続可能な地域構造形成PJ
- 7 地域医療支援PJ
- 8 次世代自動車関連産業集積拠点形成PJ
- 9 農業・水産業の収益力向上PJ
- 10 「日本のふるさと・原風景」を体験できる滞在型観光圏の創出PJ
- 11 グローバル・ゲートウェイ機能強化PJ
- 12 環日本海広域交流圏の形成PJ
- 13 地域づくりコンソーシアム創出による地域支援PJ

首都圏

- 世界都市T O K Y Oの国際ビジネス機能の強化
- サービス産業、研究開発機能のトップレベル集積を生かした新事業・新産業の創出
- 日本全体を牽引する国際ゲートウェイ機能の強化

国際ビジネス拠点強化

[国際ビジネスの先進拠点づくり]

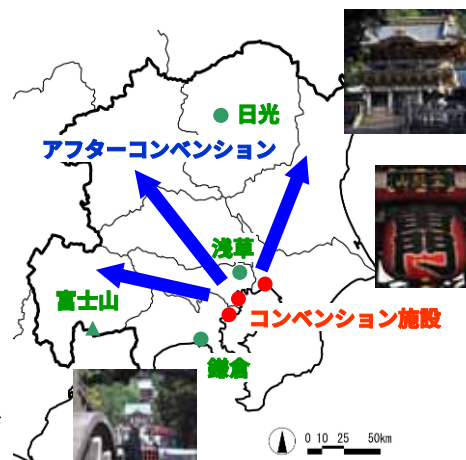
- 高機能オフィスの供給促進、情報インフラの再構築
- 乗り継ぎ利便性の向上や渋滞緩和等の推進
- 多言語によるサービスが受けられる医療、インターナショナルスクールの整備 等



金融拠点機能強化を先行させる地域

[国際ビジネスを支える環境づくり]

- みなとみらい21、幕張新都心等東京湾臨海部における国際コンベンションの誘致
- 日光の社寺、富士山などを始めとする地域の観光資源を生かしたアフターコンベンションの推進 等



アフターコンベンションのイメージ

産業イノベーション創出

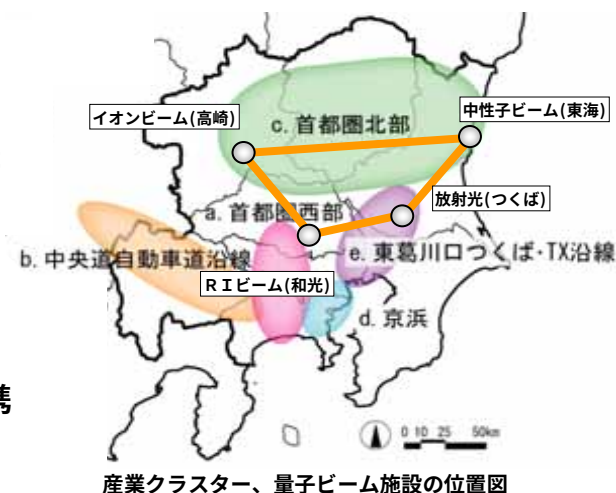
[情報ベンチャーの育成]

- 我が国最大のIT関連産業の集積を生かし、自立・持続的なネットワーク形成により優れた企業や新事業を創出 等

[量子ビームの活用]

- J-PARC (東海村)、高崎量子応用研究所 (高崎市) 等の量子ビーム施設間の連携を通じた産業利用の促進 等

[地域集積技術の産業化]



産業クラスター、量子ビーム施設の位置図

ゲートウェイ機能強化

[空港ゲートウェイ]

- 成田、羽田両空港の発着回数増加、羽田空港の国際路線拡大の推進
- 横田基地の軍民共用化に向けた取組の推進 等

[港湾ゲートウェイ]

- 京浜港の連携等によるコンテナ物流の効率化
- 東京湾諸港における共同デポ等による物流拠点機能の強化 等

[港湾・空港アクセス]

- ゲートウェイと内陸の物流拠点を連絡する国際物流基幹ネットワークの構築
- 成田ー都心ー羽田間アクセスの改善 等

首都圏広域地方計画 (検討中) の構成概要

区 域：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県の1都7県（人口：約4,240万人、域内総生産：約194兆円）

首都圏広域地方計画協議会（会長：橋本昌 茨城県知事）

(都県)				(政令市)		(市長会・町村会)		(隣接県)		(経済団体)	
橋本	茨城県知事	森田	千葉県知事	相川	さいたま市長	黒須	全国市長会	佐藤	福島県知事	佐々木	関東商工会議所 連合会副会長
福田	栃木県知事	石原	東京都知事	鶴岡	千葉市長		関東支部長	泉田	新潟県知事		
大澤	群馬県知事	松沢	神奈川県知事	中田	横浜市長	川田	関東町村会長	村井	長野県知事		
上田	埼玉県知事	横内	山梨県知事	阿部	川崎市長			石川	静岡県知事	(国の地方支分部局の長)	

キーコンセプト

世界の経済・社会をリードする
風格ある圏域づくり

戦略目標

- 日本全体を牽引する首都圏の国際競争力の強化
- 人口約4,200万人が暮らしやすく、美しい地域の実現
- 安全で安心な生活が保障される災害に強い圏域の実現
- 良好な環境の保全・創出
- 多様な主体の交流・連携がより活発な圏域の実現

プロジェクト

- 1 国際ビジネス拠点強化PJ
- 2 産業イノベーション創出PJ
- 3 太平洋・日本海ゲートウェイPJ
- 4 web (蜘蛛の巣) 構造PJ
- 5 少子高齢化に適合したすべての人にやさしい地域づくりPJ
- 6 利根川・荒川おいしい水PJ
- 7 街道・歴史まちづくりPJ
- 8 農山漁村の活性化PJ
- 9 大規模地震災害対策PJ
- 10 風水害対策PJ
- 11 火山噴火災害対策PJ
- 12 地球温暖化対策PJ
- 13 森林・農地保全推進PJ
- 14 南関東水と緑のネットワーク形成PJ
- 15 泳げる東京湾・水環境再生PJ
- 16 泳げる霞ヶ浦・水質浄化PJ
- 17 循環型社会形成推進PJ
- 18 南関東大気汚染対策PJ
- 19 広域観光交流推進PJ
- 20 地域間交流・二地域居住推進PJ
- 21 北関東多文化共生地域づくりPJ
- 22 富士箱根伊豆交流圏PJ
- 23 みんなの尾瀬をみんなで守り
みんなで楽しむPJ
- 24 FIT広域交流圏PJ

北陸卷

- 医薬、繊維などの伝統産業の集積を活かしたリーディング産業の育成
- 三大都市圏や環日本海諸国との近接性を活かした日本海側における交流の中核拠点の形成
- 居住環境に優れ、女性の就業率が高い北陸ならではの職住に便利で、子育てしやすい地域づくり

医薬、繊維などのリーディング産業化

「ライフサイエンス研究開発拠点づくり（ほくりく健康創造クラスター）」

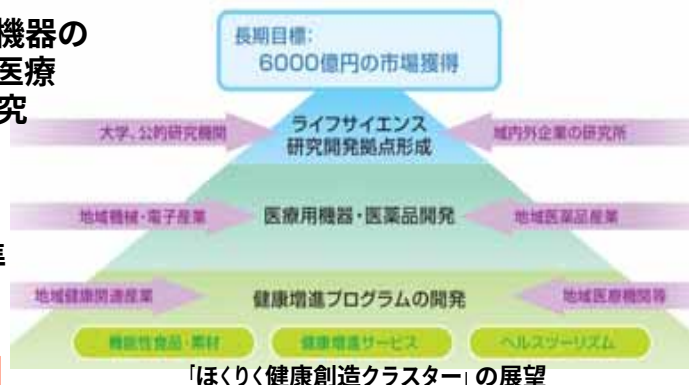
- 医薬品、診断・検査機器の
技術を活かした免疫医療
システム等の共同研究

- 東西医学融合医療
モデルや脳磁計等の
先端技術の世界標準
の策定

[新素材産業の強化]

- 伝統的な繊維産業から新素材分野として車輛、航空宇宙、家電等への展開

- ### ○3県の工業試験場等の相互利用活性化



環日本海諸国と直結する人・ものの交流の創出

「環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化」

- ### ○3県の荷主企業の連携による効率的な荷物集配システムの構築・ポートセールス

【東海北陸道や北陸新幹線を活用した広域観光交流の活発化】

- 北陸の空港と、セントレア、成田などをIN-OUTとする東アジア観光客をターゲットとした広域国際観光ルートの構築(立山・黒部、能登、白山等)

- ## ○北陸新幹線の政府・与党申合せに基づく着実な整備の推進

「暮らしやすさ日本一」の取組

[公共交通を核とした地域づくり]

(市街地のまちづくり)

- LRT、路面電車等による市内循環ルート、まちなかシャトルバス等の充実

- 駅まわりへの商業、業務、居住機能等の集積による賑わいを創出する拠点づくり

- ## ○公共交通と商業施設の 共通ICカードの利用推進

(市街地へのアクセス)

- ### ○地方鉄道や公共バス等の利便性向上



LRTとフィーダーバスの円滑な乗継ぎ



「共働き世帯を支援する子育て環境の充実」

- ## ○ワークライフバランス企業の登録・ 情報発信

- ### ○子育て世代優先駐車スペースの拡充



社内キッズスペース設置企業など

	北陸	全国 平均
住宅延べ面積 (1世帯当たり)	136㎡	92㎡
持ち家比率	74%	61%
女性の就業比率	77%	66%
共働き世帯の割合	56%	44%

北陸圏広域地方計画(検討中)の構成概要

区 域: 富山県、石川県、福井県の3県 (人口:約311万人、域内総生産:約12兆円)

北陸圏広域地方計画協議会 (会長:新木富士雄 北陸経済連合会会長)

(県)	(市長会・町村会)	(隣接府県)	(経済団体)	(国の地方支分部局の長)
石井 富山県知事	森 富山市長	泉田 新潟県知事	新木 北陸経済連合会会長	
谷本 石川県知事	山出 金沢市長	村井 長野県知事	犬島 富山県商工会議所連合会会長	
西川 福井県知事	東村 福井市長	古田 岐阜県知事	深山 石川県商工会議所連合会会長	
	魚津 朝日町長	嘉田 滋賀県知事	江守 福井県商工会議所連合会会長	
	村 津幡町長	山田 京都府知事		
	杉本 池田町長			

キーコンセプト

「暮らしやすさ日本一」
自然と資源を活かした
環日本海交流の中核拠点

戦略目標

- 安全・安心でゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実
- 進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成
- 地域文化力で育まれる国内外との交流の創出
- 日本海側の中核拠点の形成に向けた交流機能の強化

プロジェクト

- 1 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化PJ
- 2 立山・黒部や白山など山岳地域の自然環境保全PJ
- 3 次世代に継承する日本海沿岸地域の環境保全PJ
- 4 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成PJ
- 5 いきいきふるさと・農山漁村活性化PJ
- 6 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開PJ
- 7 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成PJ
- 8 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成PJ
- 9 東アジアに展開する日本海中核拠点形成PJ

(北陸圏・中部圏連携プロジェクト)

- 1 まるっと北陸・中部観光魅力増進PJ
- 2 広域物流ネットワーク(日本海～太平洋)構築PJ
- 3 環白山・環北アルプス広域エコロジーPJ
- 4 広域防災・災害応援ネットワークPJ

中部圏

- ものづくり産業の強化と航空宇宙産業など次世代を担う産業分野の育成
- 環境技術をリードし、有数の山岳資源存在、万博開催圏域として環境保全に貢献
- 国内の地理的中心性を活かし、経済等の交流軸、世界からも認められる圏域に成長

ものづくり産業の競争力強化

[海外の企業、人と投資の導入による新しい価値の創造]

- 海外企業とのビジネス・マッチング・ミーティングの開催
- 海外企業の進出支援（インキュベーター施設提供、法務・財務サービス等）
→ 官民協働による圏域のブランド化、海外投資人材誘致

海外企業との経済交流のイメージ



次世代産業の育成

[航空宇宙産業]

- 研究拠点としてのJAXAとの協力強化
- 環境適応型小型航空機の開発に関する人材育成・関連産業の集積等

[高機能デバイス産業]

- 大学等を中心としたナノテクを用いた超微細・高機能デバイス（素子・部品）等の創出

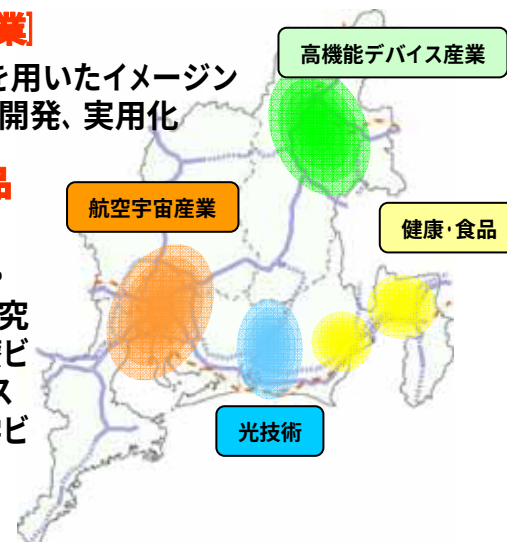
[光技術関連産業]

- レーザー光等を用いたイメージングシステム等の開発、実用化

[先端健康・食品産業]

- がん等の医学・看護学・工学研究の融合化、医療ビジネスやストレス対策、食品科学ビジネスの創出

等



環境への貢献

[新エネルギー産業の形成]

- 水素等の新エネルギーの研究・開発の拠点の形成



愛知県：HP

[低炭素型交通体系の構築]

- 高い自動車依存率から脱却を図るパークアンドライドやエコドライブなどエコモビリティの展開

[生物多様性に配慮した圏域の形成]

- 生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）開催と中部圏の生態系保全に向けた取組推進



生物多様性条約第10回締約国会議支援実行委員会：HP

[世界に向けた広域交流ネットワークの形成]

- 需要拡大努力、地域としての戦略的構想を固め、国と地方が連携して中部国際空港の国際競争力を強化。国際的な港湾機能の強化
- ゲートウェイと内陸の物流拠点を連絡する国際物流基幹ネットワークの構築
- 中央新幹線についての調査、超電導磁気浮上式鉄道の実用化技術の開発を一層推進し、新時代の革新的高速鉄道システムの早期実現を目指す

中部圏広域地方計画 (検討中) の構成概要

区 域：長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の5県 (人口：約1,720万人、域内総生産：約77兆円)

中部圏広域地方計画協議会 (会長：神田真秋 愛知県知事)

(県)	(政令市・市長会・町村会)	(隣接県)	(経済団体)	(国の地方支分部局の長)
村井 長野県知事	小嶋 静岡市長	石井 富山県知事	川口 中部経済連合会会長	
古田 岐阜県知事	鈴木 浜松市長	谷本 石川県知事	岡田 東海商工会議所連合会会長	
石川 静岡県知事	松原 名古屋市長	西川 福井県知事	加藤 長野県商工会議所会長	
神田 愛知県知事	細江 岐阜市長	嘉田 滋賀県知事	松浦 静岡県商工会議所会長	
野呂 三重県知事	近藤 幸田町長			

キーコンセプト

ものづくりと環境貢献で
日本のロータリーとして
世界のまんなかへ

戦略目標

- 中部圏の資源を活かした国内外の多様な交流の拡大
- 世界のものづくりの中心地としての産業競争力の強化
- 持続可能な環境共生社会を実現する環境先進圏の形成
- 誰もが生き生きとして暮らせる地域社会の実現
- 安全・安心で災害にも強い地域づくり

プロジェクト

- 1 ものづくり産業の競争力強化PJ
- 2 次世代産業イノベーションPJ
- 3 低炭素社会実現PJ
- 4 いきもの共生PJ
- 5 国際ゲートウェイ中部PJ
- 6 まんなか巡り観光交流PJ
- 7 高次都市機能・連携強化PJ
- 8 農山漁村の活性化PJ
- 9 多文化共生先進圏PJ
- 10 暮らしの安心・快適PJ
- 11 文化継承・創造PJ
- 12 災害克服PJ
- 13 三遠南信流域都市圏活力向上PJ
- 14 伊勢湾再生PJ

(他圏域との連携プロジェクト)

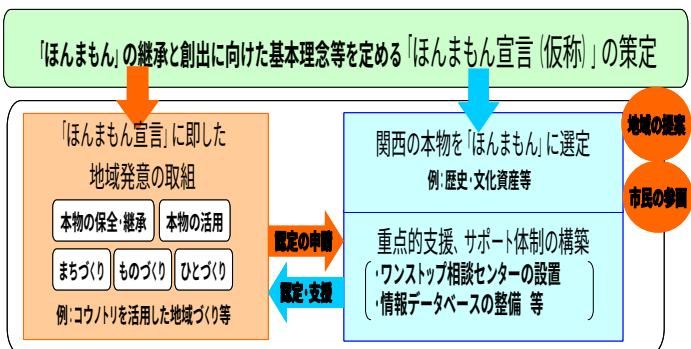
- 1 まるっと北陸・中部観光魅力増進PJ
- 2 広域物流ネットワーク (日本海～太平洋) 構築PJ
- 3 環白山・環北アルプス広域エコロジーPJ
- 4 広域防災・災害対応ネットワークPJ
- 5 東北・首都圏連携PJ
- 6 近畿圏連携PJ

近畿圏

- 古からの多様な「文化」と伝統を活かした文化首都圏の形成
- 世界有数の学術研究機関等の「知」の結集による次世代産業の育成
- 関西が誇る「知」と「文化」を最大限に活かした関西の復権

文化首都圏の形成

[関西ブランド「ほんまもん」の創生]



[歴史遺産の活用と国際的な交流拡大]

- 平城遷都1300年祭を通じた文化交流



第1次大極殿正殿

[本物を担う人材の育成]

- 国宝等の保全に必要な技能習得機会を一元的に提供する仕組みを構築
- 文化政策・まちづくり大学院大学(仮称)構想の推進

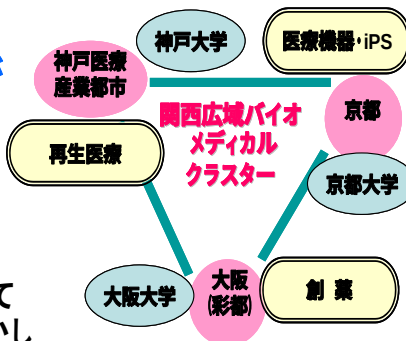
[知と文化の拠点を支える国際アクセス機能の強化]

- 関空・阪神港等の物流機能強化
- ベイエリア等の広域物流ネットワーク
- 関空アクセスの強化

「知の拠点」の形成

[関西広域バイオメディカルクラスター]

- 関西バイオ推進会議と欧米のクラスターが提携し、がん関連、遺伝学、感染症研究等の分野における人材交流等を推進
- 京都大学を中心としてiPS細胞の特徴を活かした新薬の開発等を推進



[アジア研究の拠点]

- 大阪駅北地区において「アジア太平洋地域研究所(仮称)」構想を推進し、世界の研究者の交流拠点を形成

[食を担う幅広い人材の育成]

- 我が国唯一の「食の大学院(仮称)」構想を推進し、食分野の人材育成を推進

「ほんまもん」を巡る観光の推進

ジオパークとは、科学的に貴重で美しい地質遺産

[文化資産等を活用した観光商品開発]

- 世界ジオパークへの加盟を目指す山陰海岸ジオパーク、世界遺産である熊野古道等を核とした観光ルートを開発



近畿圏広域地方計画(検討中)の構成概要

区 域：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県（人口：約2,090万人、域内総生産：約82兆円）

近畿圏広域地方計画協議会（会長：秋山喜久 関西広域機構会長）

(府県知事)	(政令市・市長会、町村会)	(隣接県知事)	(経済団体等)	
嘉田 滋賀県知事	門川 京都市長	西川 福井県知事	下妻 関西経済連合会会長	篠塚 堺商工会議所会頭
山田 京都府知事	平松 大阪市長	古田 岐阜県知事	野村 大阪商工会議所会頭	秋山 関西広域機構会長
橋下 大阪府知事	木原 堺市長	野呂 三重県知事	齋藤 関西経済同友会代表幹事	
井戸 兵庫県知事	矢田 神戸市長	平井 鳥取県知事	辻井 関西経営者協会会長	
荒井 奈良県知事	向井 泉南市長	石井 岡山県知事	立石 京都商工会議所会頭	(国の地方支分部局の長)
仁坂 和歌山県知事	岡井 河合町長	飯泉 徳島県知事	水越 神戸商工会議所会頭	

キーコンセプト

知と文化の「ほんまもん関西」の復権

戦略目標

- 歴史・文化に誇りを持って本物を産み育む圏域
- 多様な価値が集積する日本のもう一つの中心圏域
- アジアを先導する世界に冠たる創造・交流圏域
- 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域
- 都市と自然の魅力を日常的に享受できる圏域
- 人々が自立して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域
- 暮らし・産業を守る災害に強い安全・安心圏域

プロジェクト

- 1 文化首都圏PJ
- 2 関西の魅力巡りPJ
- 3 次世代産業を創造する「知の拠点」PJ
- 4 大阪湾ベイエリア再生PJ
- 5 広域物流ネットワークPJ
- 6 CO2削減と資源循環PJ
- 7 水と緑の広域ネットワークPJ
- 8 関西を牽引する賑わい創出PJ
- 9 農山漁村活性化PJ
- 10 広域医療PJ
- 11 広域防災・危機管理PJ

中国圏

- 臨海産業等のリノベーション促進による産業競争力の確保
- 全国に先行して高齢化が進む中山間地域等の暮らしの安心確保
- 地理的近接性を活かした国際交流の促進

ものづくり産業などのリノベーションの促進

[瀬戸内海に集積するコンビナートのリノベーション]

- 単独企業では達成困難な省資源・省エネルギー向上を進めるため、複数企業間で原料、副生成物の相互融通が可能な技術の開発によるコンビナートの統合的運用の促進

[中国圏のものづくりを支える基幹産業の強化]

- 自動車の窓材樹脂等の川上・川下企業が連携した技術開発の促進

[グローバルな視点からの戦略的な企業誘致]

- 広域ブロックによる誘致活動、事務所開設支援による外資系企業の誘致の促進

瀬戸内海・日本海沿岸における国際交流機能強化

[国際交流の促進]

- 見本市への出展支援や韓国、ロシアでの物産展、商談会の開催等により民間の貿易・経済交流を促進

[交流を支える都市・交通基盤の強化]

- 貿易・経済交流を支える国際路線や定期航路の充実、港湾整備
- 港湾・空港と圏域内外の各地域を連絡する高速交通ネットワークの整備
- 市街地再開発等による拠点都市機能の強化



北東アジアとの主な国際海上航路 ▶

中山間地域等の暮らしの安心確保

[中山間地域等を支える一次生活拠点機能の充実]

- 診療所、商店、郵便局などの生活サービス機能を集約化するワンストップ拠点の構築を旧市町村単位や小学校区単位で推進

[医療・福祉ネットワークの充実]

- へき地診療所への医師派遣等の総合的な地域医療支援を実施
- ドクターヘリの導入等による救急医療の充実

[集落コミュニティの強化・再構築による共助の仕組み作り]

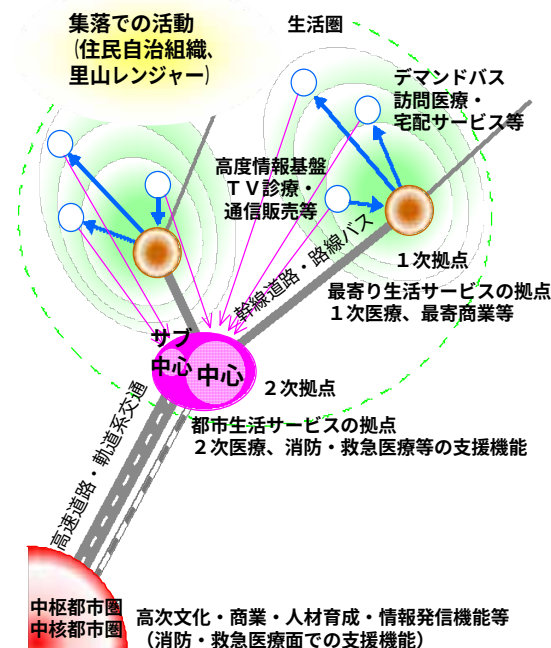
- 集落住民参加による集落型NPOや住民自治組織等による集落活動の再構築

- 大学生の里山レンジャー導入等による住民と外部人材との協働による地域活動の促進



▲ 大学生による里山レンジャー (島根県浜田市)

中山間地域の暮らしの安心を支える1次拠点、2次拠点 ▶



中国圏広域地方計画（検討中）の構成概要

区 域：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県の5県（人口：約770万人、域内総生産：約30兆円）

中国圏広域地方計画協議会（会長：藤田雄山 広島県知事）

（県）	（政令市・市長会・町村会）	（隣接市）	（経済団体）	（国の地方支分部局の長）
平井 鳥取県知事	秋葉 広島市長	北橋 北九州市長	福田 中国経済連合会会長	
溝口 島根県知事	高谷 岡山市長		大田 中国地方商工会議所連合会会頭	
石井 岡山県知事	片岡 総社市長			
藤田 広島県知事	野村 萩市長			
二井 山口県知事	小坂 安芸太田町長			

キーコンセプト

瀬戸内海・日本海に臨む基幹産業と
山里の資源で創る交流圏域

戦略目標

- 地域の多様性を活かした交流・連携で、持続的に発展する中国圏
- 産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦で、持続的に成長する中国圏
- 多彩な文化と自然を活かして、多様で豊かな生活を楽しめる中国圏

プロジェクト

- 1 ものづくり産業などのリノベーション促進PJ
- 2 臨海部産業支援のための国際物流機能強化PJ
- 3 日本海沿岸における北東アジアゲートウェイPJ
- 4 基幹的交通・情報通信ネットワーク整備PJ
- 5 里地・里山・里海保全と農林水産業再生PJ
- 6 地場産業を創出する地域資源活用PJ
- 7 高齢化の進む中山間地域・島しょ部の暮らし安心PJ
- 8 中国圏の未利用資源を活用した低炭素・循環型地域づくりPJ
- 9 瀬戸内海の保全・活用PJ
- 10 中国圏まるごと観光推進PJ
- 11 東アジア等との国際交流推進PJ
- 12 分散型地域構造に応じた集約型都市整備PJ
- 13 中国圏のサービス産業育成PJ
- 14 美しく強靱な中国圏域づくりPJ
- 15 中国圏の人づくりPJ

（四国圏等他圏域との連携）

- 1 広域連携による観光振興・外国人観光旅客の来訪の促進
- 2 産業集積地間の連携による国際的な産業拠点形成
- 3 瀬戸内海の環境保全と修復
- 4 暮らしの安全・防災ネットワークの整備
- 5 広域交通ネットワークの連携促進

四国圏

- 四国の豊かな森林資源を活用した圏域の活性化と次世代への継承
- 四国の地域資源に根ざした産業クラスターの形成
- 多島美に優れた瀬戸内海的环境保全と魅力向上によるフィールドミュージアムの形成

緑の島四国の森林との共生

四国の面積の約75% (全国:約67%) を占める豊かな森林資源を活用した圏域の活性化と環境の保全

[CO2吸収源としての価値に着目した取組]

- 森林保全活動に対しCO2吸収量を認証する「CO2吸収認証制度」の四国圏全体における導入の推進
- 間伐材利用等により削減した二酸化炭素CO2吸収量を認証し、その認証量に応じて発行されるクレジットをCO2削減を求められている企業が買い付ける「オフセット・クレジット制度」を活用した森林の間伐活動の促進



▲間伐による森林保全活動

[林業と木材産業の一体的な再生]

- 効率的な残材収集・搬送体制、残材・間伐材の地産地消の仕組みを整備し、木質バイオマス (木材から生まれた再生資源) の利用を推進 (徳島県那賀町)
- 木材の安定供給・林業の再生を図るための小規模森林の団地化の推進による効率化

[四国の美しい森林づくり]

- CSR (社会貢献・環境貢献) 活動に関心のある企業等と行政・森林組合とが森林整備協定を締結し、両者が協働して植林、下刈、間伐等森林の整備を推進

きらり輝く技術力・健康支援産業クラスターの形成

[クラスターの形成・成長に向けた取組の推進]

- LED (徳島LEDバレイ構想)、希少糖※ (糖質バイオクラスター構想) における技術開発をファンドの助成等により支援し、クラスター形成を推進

※希少糖: 自然界に微量しか存在しない糖類
医薬品、健康食品、化粧品等に応用



- 造船・舶用産業や海運事業等の活性化のための企業による大学の寄付講座の開設等企業と大学の連携による人材育成の取組の推進

「瀬戸内フィールドミュージアム」の形成

[瀬戸内広域観光の形成と世界に向けた情報発信]

- 瀬戸内広域観光のモデルコースの設計、瀬戸内国際芸術祭の開催を契機とした瀬戸内海の島々を紹介する取組の推進

▼瀬戸内クルーズ観光船

[クルーズ観光の推進]

- チャーター便の運行等によるクルーズ船観光の推進



[多様な主体との連携による瀬戸内海的环境保全・活用・修復]

- 住民、NPO、行政等とのネットワーク構築による海ゴミの回収等の環境保全の取組の推進
- 瀬戸内海の景観保全に向けた景観計画の策定推進

四国圏広域地方計画 (検討中) の構成概要

区 域：徳島県、香川県、愛媛県、高知県の4県（人口：約410万人、域内総生産：約14兆円）

四国圏広域地方計画協議会（会長：大西淳 四国経済連合会会長）

(県)		(市長会・町村会)		(経済団体)	(国の地方支分部局の長)
飯泉	徳島県知事	原	徳島市長	大西	四国経済連合会会長
真鍋	香川県知事	五軒家	海陽町長	綾田	四国商工会議所連合会会長
加戸	愛媛県知事	宮下	善通寺市長		
尾崎	高知県知事	小國	多度津町長		
		石橋	宇和島市長		
		白石	松前町長		

キーコンセプト

癒やしときらり輝く産業のしま・四国の創造

戦略目標

- 安全・安心を基盤に、快適な暮らしを実感できる四国
- 地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国
- 歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国
- 東アジアをはじめ、広域的に交流を深める四国
- 中山間地域・半島部・島しょ部等や都市が補完しあい活力あふれる四国

プロジェクト

- 1 人と文化を育む産学官連携PJ
- 2 緑の島四国の森林共生PJ
- 3 南海と瀬戸内の食彩展開PJ
- 4 きらり輝く技術力・健康支援産業クラスター形成PJ
- 5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上PJ
- 6 防災力向上PJ
- 7 中山間地域・島しょ部活性化PJ
- 8 四国霊場八十八箇所と道路文化により地域をつなぐPJ
- 9 瀬戸内フィールドミュージアムPJ
- 10 黒潮洗う南海輝きPJ

(中国圏等他圏域との連携)

- 1 広域観光、インバウンド観光の推進
- 2 産業集積地間の連携による国際的な産業拠点形成
- 3 瀬戸内海的环境保全と修復
- 4 暮らしの安全・防災ネットワークの整備
- 5 広域交通ネットワークの連携促進

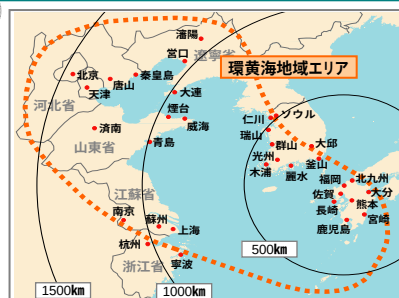
九州圏

- 環黄海地域を中心とした経済活動等における緊密な連携・協力関係の構築
- 東アジアへの近接性を活用したフード・観光アイランドの形成促進
- 九州圏全体の発展を牽引する産業群の形成促進

東アジア (環黄海) 経済圏の確立

【東アジア (環黄海) を基軸とした産業・経済交流の推進】

- 環黄海経済・技術交流会議等を通じた貿易・投資、技術・人材等の相互協力による経済交流の推進



国際的に魅力ある食の先進地、一大観光地としての発展

【フードアイランド】

【東アジアへの輸出も視野に入れた高品質で個性溢れる食料供給基地の形成】

- 福岡における「あまおう」を始めとする海外でも魅力的な農産物等の生産地づくりの推進



あまおう (福岡)

マンゴー (宮崎)

高級果実としてアジアの富裕層の人気を獲得。米国等への輸出販路を拡大中。

味・品質の面で輸入マンゴーとは格段の差があり県外市場でも高い評価を獲得。

【観光アイランド】

【海峡・海洋を介した国際観光圏の形成】

- 九州新幹線や韓国高速鉄道等を活用した福岡市と釜山広域市における観光連携の推進
- 鹿児島、長崎等における世界を巡る外航クルーズ船の寄港誘致活動の推進

【自然・歴史的風土等を活かした魅力溢れる国際観光地の形成】

- 世界最大のカルデラを有する阿蘇・くじゅう国立公園における滞在交流型観光地づくりの推進
- 長崎・天草の教会群とキリスト教関連遺産を活かした観光連携の推進

阿蘇・くじゅう国立公園



阿蘇草千里



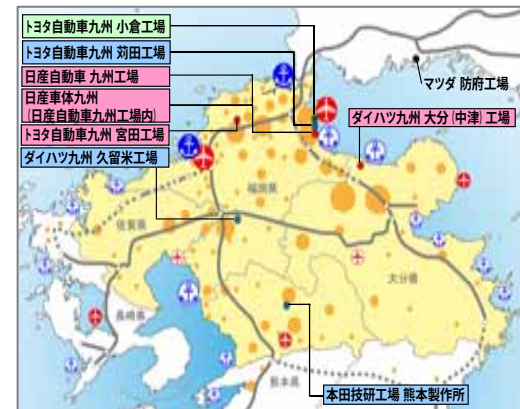
▲高速旅客交通の連携による日韓国際観光圏の形成 (イメージ)

九州圏を牽引する成長産業群の形成

【カーアイランド】

【北部九州地域における自動車生産拠点の形成】

- 九州各県で構成される九州自動車産業振興連携会議を活用した自動車部品メーカー等への企業誘致の促進



▲北部九州地域における自動車関連産業の立地状況

【次世代自動車の研究開発・生産技術拠点の形成】

- 半導体産業と自動車産業の融合に向けた北九州市におけるカーエレクトロニクス研究開発拠点づくりの推進

【シリコンアイランド】

【世界市場で通用する技術の確立】

- 大分における半導体評価・解析技術など、東アジアをリードする特色ある研究開発・生産技術拠点づくりの推進

【次世代成長期待産業】

【新エネルギー産業の育成】

- 熊本におけるソーラーエネルギー等事業推進協議会での研究開発支援や戦略的な企業誘致を始めとした、ソーラー関連産業集積の促進
- 福岡水素エネルギー戦略会議を通じた世界最大の水素タウンの整備など、水素エネルギーの実用化・事業化に向けた研究開発・実証活動の推進

九州圏広域地方計画（検討中）の構成概要

区 域：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の7県（人口：約1,340万人、域内総生産：約44兆円）

九州圏広域地方計画協議会（会長：鎌田迪貞 九州経済連合会会長）

（県）		（政令市）	（市長会・町村会）	（隣接県）	（経済団体）
麻生 福岡県知事	広瀬 大分県知事	北橋 北九州市長	津村 宮崎市長	二井 山口県知事	鎌田 九州経済連合会会長
古川 佐賀県知事	東国原 宮崎県知事	吉田 福岡市長	山本 添田町長	仲井眞 沖縄県知事	河部 九州商工会議所連合会会長
金子 長崎県知事	伊藤 鹿児島県知事				
蒲島 熊本県知事					

（国の地方支分部局の長）

キーコンセプト

東アジアとともに発展し、
活力と魅力あふれる
国際フロンティア九州

戦略目標

- 東アジアへのフロントランナーとして発展する九州圏の形成
- 基幹都市圏を核とした多極型圏土構造と九州圏の一体的な発展
- 災害・環境ハザード最前線における安全・安心で美しい九州圏の形成
- 拠点都市圏と多自然居住地域の交流による都市自然交流圏の形成
- 生活中心都市を核とした安心でゆとりある基礎生活圏の形成
- 離島・半島、中山間地域等の地理的制約を克服する豊かな定住環境の形成
- 九州圏の各地域の個性を活かした先導的な地域づくり

プロジェクト

- 1 東アジアと我が国の関係をリードする魅力ある国際交流フロンティアの形成
- 2 九州圏の持続的な成長を実現する成長型・牽引型産業群の形成
- 3 東アジアへの近接性等を活用したフード・観光アイランドの形成
- 4 新たな発展を実現する東アジア、広域ブロックとの交流・連携の推進
- 5 東アジア、近畿圏以西と直結する九州新幹線の整備インパクトの最大化
- 6 多極型圏土構造の極となる個性的で魅力ある基幹都市圏の形成
- 7 文化・知識集約化による創造的都市の形成と多彩な人材の育成
- 8 九州圏の一体的な発展を実現する基幹都市連携軸の形成
- 9 減害の視点も重視した災害に強い地域づくり
- 10 安全で安心な暮らしを支える広域セーフティネットワークの形成
- 11 美しく自然豊かな環境・景観に親しみ継承していく地域づくり
- 12 我が国を先導する環境負荷の少ない環境先進圏の形成
- 13 地球環境に優しく持続可能な低炭素社会・エネルギー先進圏の形成
- 14 広域的な都市的利便性を実現する拠点都市圏の形成と集約型都市構造への転換
- 15 水・緑・食・安全等の互惠関係を実現する都市自然交流軸の形成
- 16 生活支援機能の維持・向上を実現する基礎生活圏と生活文化交流軸の形成
- 17 誰もが安心とゆとりを実感できる子育て・生活環境の形成
- 18 生活活動に密着した地域産業の新たな展開
- 19 地理的制約を克服する生活イノベーションの展開
- 20 離島地域における海洋性気候等に恵まれた豊かな定住環境の形成
- 21 恵まれた地域資源を活用した先導的で創造性あふれる地域づくり
- 22 多様な活動主体を基軸とした地域づくりと地域の担い手育成